

走り検知

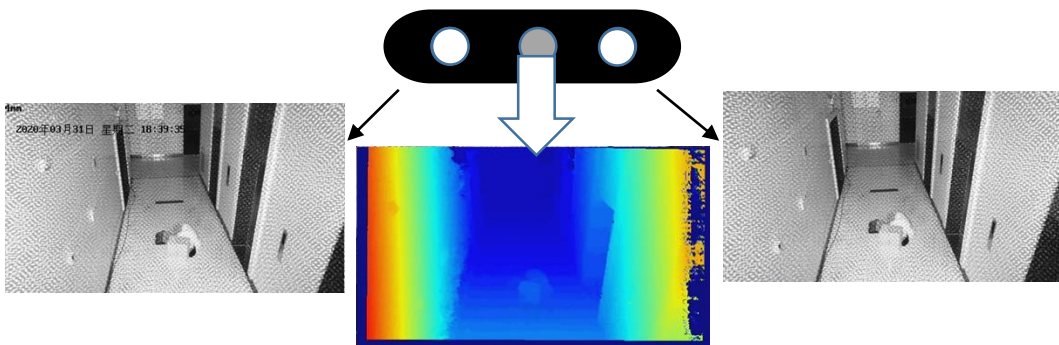


安全な職場環境の実現のために！

※画像はイメージです。



工場で走っている人をカメラで検知することは、安全性向上と効率的なリスク管理において重要です。走る行動は転倒や衝突のリスクを高め、労働災害につながる可能性があります。



HIKVISIONの3眼レンズカメラは、被写体を立体的に捉えることで、「走り検知」を実現します。

※画像はイメージです。

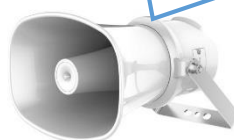
利用シーン

ネットワークスピーカーで警告音を発報し、
従業員の安全を確保する。

- カメラが“走った人”を検知



- ネットワークスピーカーで
注意喚起（自動再生）



走らないでください！

システム構成

iDS-2CD8447G0/B-RS



ネットワークスピーカー



PoE HUB

PC

システム構成例

分類	製品名	数量
カメラ	iDS-2CD8447G0/B-RS	1~
ネットワークスピーカー	DS-QAZ1307G1T-E	1
PoE HUB		1
PC&モニタ		1

分類	製品名	数量
VMS	HikCentral-P-VSS-Base/0Ch	1
VMS	HikCentral-P-VSS-1Ch	カメラ台数
VMS	HikCentral-P-IPSpeaker-1Unit	ネットワークスピーカー台数

※なお、本アルゴリズム（走り検知）は確実性が高いものではありません。誤検知（または未検知）のリスクがございます。従業員の“抑止効果”としてご利用頂くことを推奨いたします。